

1年間よろしくお願ひします 平成26年度の自治会長さんが決定しました

平成26年度の自治会長さんが決まりましたのでお知らせします。
各地区・各自治会でのまとめ役として、4月から1年間お世話になります。
よろしくお願ひします。

角石下矢朝宮湯三上上上上美下尾上 木原三 日 の の 本 本 成 成 成 女 高 高 之 里 三 谷 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 多 田 所 谷 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 田 田 所 谷 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町	三 成	土上上上馬馬中八八八八上佐佐 屋所所所馳馳 代 代 代 代 布 白 部東中東部 下 上 村 部 町 町 部 施 町 東 中 東 部 下 上 村 部 町 町 部 施 町	布 勢
佐和植森大塔藤西藤西川渡内藤藤藤 野久 利 田 山 田 村 原 村 原 村 西 部 田 原 原 原 木 利 田 山 田 村 原 村 原 村 西 部 田 原 原 原		田友田妹恩石陶石内赤松松西延 中塚部尾田原山原田名田本村谷 敏清 勝 龍幸光弘清光義政 雄次悟友光肇治夫彦好和令昭典	
川鑄山 雲川下大 福上本上米真 子物 堀 崎東口上 原町町町原地 原屋根 崎東口上 原町町町原地	阿 井	高琴 大梅亀谷久中西上 田枕 原原町奥須野野分 伊藤久勝山石赤佐青佐宇米 藤原井部田原名藤戸藤部原	亀 嵩
千稲川難藤内藤荒足稲中駒若西若 原田角波原田原木木村西原月村月 博真昌光光 清茂恒孝耕裕末 利 芳二伯男則勇治利夫行司一昇晴		己男範史彦一志則雄利貢則 己男範史彦一志則雄利貢則	

川鑄山 雲川下大 福上本上米真 子物 堀 崎東口上 原町町町原地 原屋根 崎東口上 原町町町原地	阿 井	高琴 大梅亀谷久中西上 田枕 原原町奥須野野分 伊藤久勝山石赤佐青佐宇米 藤原井部田原名藤戸藤部原	亀 嵩
千稲川難藤内藤荒足稲中駒若西若 原田角波原田原木木村西原月村月 博真昌光光 清茂恒孝耕裕末 利 芳二伯男則勇治利夫行司一昇晴		己男範史彦一志則雄利貢則 己男範史彦一志則雄利貢則	

大六加 横 角 日 市 曲 食 田 岩 加 岩 藤 松 佐 藤 佐 原 原 俊 善 重 治 康 秀 章 信 男 夫	横 田	追山日中山福中山代 根 向 側 側 粉 郡 頼 丁 県 山 谷 側 側 粉 郡 頼 丁 県 山 西 松 堀 石 新 足 村 部 福 澤 村 江 原 田 立 尾 田 本 和 吉 昭 妃 成 明 雄 修 直 喜 登 史 洋 美	鳥 上
小馬木本郷 小入中森 矢入中森 本谷保 反野伏 堅田野伏 大馬木第1本郷 大馬木第2本郷 女良旭木 川古土雨大八中 小奥坂三 西市橋川郷郷川川川根野 中恩松川板景堀堀山糸白 村田崎西垣山尾尾内原川 憲公幹幸憲 知信健壽英 一夫夫雄三明則勝一之夫	三 沢	小奥湯谷上幡 寄下 藤田西加 原部村納 義 富美 行泰勇夫	

小馬木本郷 小入中森 矢入中森 本谷保 反野伏 堅田野伏 大馬木第1本郷 大馬木第2本郷 女良旭木 川古土雨大八中 小奥坂三 西市橋川郷郷川川川根野 中恩松川板景堀堀山糸白 村田崎西垣山尾尾内原川 憲公幹幸憲 知信健壽英 一夫夫雄三明則勝一之夫	馬 木	原稻藏樋五や馬 口田屋口田め場 藤判水伊佐安福 原官田藤藤部間 耕俊 文正利 治一仁收夫人夫	八 川
小馬木本郷 小入中森 矢入中森 本谷保 反野伏 堅田野伏 大馬木第1本郷 大馬木第2本郷 女良旭木 川古土雨大八中 小奥坂三 西市橋川郷郷川川川根野 中恩松川板景堀堀山糸白 村田崎西垣山尾尾内原川 憲公幹幸憲 知信健壽英 一夫夫雄三明則勝一之夫			

癒しのギャラリー 奥出雲名樹百選展

三井野原にある奥出雲鉄の彫刻美術館では、「奥出雲名樹百選展」を6月1日まで開催しています。
この展示は、平成24年度に奥出雲地域活性化実行委員会が実施した、奥出雲の名樹悉皆調査により選ばれた町内の「巨樹・名樹」102本を写真で紹介しています。
奥出雲の歴史を見守り、人々にエネルギーや安らぎをもたらした親しまれてきた数々の名樹。普段見ることのできない名樹もたくさん展示してあります。皆さんも是非足を運んでご覧ください。



▲ギャラリーの様子



▲テープカットをする入場者第1号の藤原清信さん、井上町長、小林館長(左から)

馬木農村広場に管理棟が完成

馬木地区住民からかねてより要望のあった馬木農村広場管理棟が三月中旬に完成しました。
管理棟には和室、会議フロアーが各一室と男女別のトイレが設置されています。
今後、地域住民のコミュニティ活動や健康増進、災害時の緊急避難施設など、地域の重要な役割を担う拠点施設として幅広く活用されます。



▲完成した馬木農村広場管理棟

第10回 さくらおるち湖ウォーク開催

四月六日、二回目となるさくらおるち湖ウォークが開催され、県内外から約二百人が参加しました。ウォーキングコースはボート競技施設を発着とし、さくらおるち湖を半周するコース(八キロ)と、佐白温泉長者の湯を経由する一周コース(二十二キロ)が用意されました。
当日は、途中から雪が混じる悪天候となりましたが、参加者はさくらおるち湖周辺の雄大な自然を満喫しながらウォーキングを楽しみました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者